



前期の○と× ～早寝早起き～

(続き) 授業中に眠くなってしまうことがあった。

▼タバスコ

- 行事にしっかり取り組めた。
- ×勉強がおろそかであった。

▼Red point

- 星陵祭で好結果を出せたこと。体育祭のクラス選抜リレーで1位をとれたこと。
- ×勉強時間が足りなかったように思う。成績がかなり悪かった。

▼Water

- 夏休みの部活を1回も休まなかった。予習をがんばった。星陵祭がんばった。
- ×期末の方が評価が下がった。ねむいー

▼harmony!

- 体育祭のフェイスペインティング。
- ×前期期末テスト。

▼ほんさん

- 行事。部活動。欠席はなかったはず。早寝早起き。
- ×提出物。テスト。授業態度。

▼NH

- 星陵祭でよく働くことができた。美術で鉛筆がうまくできた。
- ×勉強、もっとやればよかった。サクシードともっと仲良くなるべきだった。寝不足。生活のリズムが乱れている。ギリギリの勉強が多い。

▼M.S.

- あらゆる行事で活躍できた。元気で過ごせた。
- ×勉強が追いつかない。部活行く前にナーバスになる。携帯に触れる時間が増えた。

▼Hug

○(なし)

×復習を大切にすればよかった。

▼K

- 特に大きなけがや病気をせずに半年間過ごせた。
- ×しっかり勉強する癖がつけられなかった。テストの点がわるかった。

▼徳川次郎三郎源朝臣家康

- 毎日登校した。毎日楽しめた。
- ×定期考査への取り組み。予習復習。テストの解き直し。夏休み、休日。実力テスト。SNS。学習全般。

*

通知票を返却している間に書いてもらっていたせいか、どうも「×」の話題は成績の話が多くなってしまった感じである(笑)。ただ、結果がどうであれ、勉強のことを「×」と思っているということは、それだけ向上したいという思いがあるからだろう。それはとても大切なことである。その気持ちを素直に受け入れて、これからの学習に結びつけていこう。それには、前期の自分の経験を生かすことも大切だ。誰だって眠くなる。どう睡眠時間を確保し、どう授業時間を生かすのか。家でダラダラしないためにはどうしたらよいか、そして、休日をどう過ごすのかといった点について、もう一度しっかり考えよう。

一方、「○」は行事や部活、そしてクラスのことが多かった。その基本にある皆勤を挙げた人もいる。これらは、君たちが日比谷生として充実した日々を過ごしたことの証であろう。そのことを誇りに思いながら、さらに「日比谷生」になってほしい。